

# 朋友

For You

沖縄セントラル病院広報誌  
2012年 1月発行 Vol. 18



医療法人 寿仁会 沖縄セントラル病院  
ユートピア沖縄

〒902-0076 沖縄県那覇市与儀 1-26-6 TEL.098-854-5511 FAX.098-854-5519  
URL <http://www.jyujinkai.jp/central/> E-Mail [o-centh1@nirai.ne.jp](mailto:o-centh1@nirai.ne.jp)



# 目次

年 頭 所 感 理事長 大仲 良一 . . . . . 3

謹 賀 新 年 病院長 宮城 航一 . . . . . 7

謹 賀 新 年 看護部長 喜久川 美佐代 . . . . . 8

## \*\*\*活動アルバム\*\*\*

忘年会・仕事はじめ 交友会長 大城裕也 . . . . . 9

餅つき大会 . . . . . 10

新入職員紹介 . . . . . 10

特定非営利活動法人アムダ

# AMDA

## 沖縄

### AMDA沖縄 会員募集

救える命があればどこへでも!

AMDA 沖縄の活動を応援して下さる会員を募集しています。

入会希望の方は下記まで連絡下さい。  
(医師・一般・法人・学生等)

那覇市与儀1丁目26番6号(沖縄セントラル病院内)  
TEL098-854-5511(担当:津波古)

### AMDAの活動へのご支援のお願い

AMDAでは今後も平和を妨げる戦争、災害、そして貧困に苦しめられている人々への保健医療支援を行なっていきます。

今後とも変わらぬご支援をお願いいたします。ご寄附の場合は下記の口座までお願いします。

沖縄銀行 与儀支店 普通預金 1295760  
アムダ沖縄代表 大仲良一(おおなかよしいち)

# 年 頭 所 感

—2012年・平成24年—

— **Think globally act Locally** — 医療法人寿仁会  
沖繩セントラル病院  
ユートピア沖繩  
理事長 大仲 良一



## 謹 賀 新 年

皆様、明けましておめでとうございます。希望に満ちた新年をお迎えの事とお慶び申し上げます。

光陰矢のごとし、才月の経つのは速いもので、特に昨年は猫の手でも借りたい程の多忙な日々でした。時々刻々と目まぐるしく変化する社会の中で、一年が瞬く間に過ぎ去った感を深くしています。旧年を回顧しますと、多くの日本人が虚無感に陥り、希望を失い、暗いトンネルから抜け出す術を知らないまま、悶々と過ごしたように思う昨今です。

国際的には、ギリシャに端を発したユーロ経済危機と、アメリカの経済不況が全世界に波及しています。中東では、国際テロ組織アルカイダの指導者オサマ・ビンラデインの殺害、中東の民主化運動でエジプトをはじめ、リビアに至る専制独裁政治が相次いで崩壊し、アラブの春をもたらしたものの、イランでは原子力の軍事利用が懸念され、一触即発の火種となっています。

曾てユーラシア大陸を席卷した中国漢民族が再び大国となり、破竹の勢いでなり振りかまわず他国への経済侵略を進めています。更に、東南アジアでは、数ヶ月に及ぶタイの大洪水で我が国の企業が大損失を被っています。単に人件費が安いという理由で国外へ進出しているのであれば、大きな反省の機会となったと思います。国内には失業者が溢れています。また今日まで国内で蓄積してきた貴重な技術を、安易に放出しているだけではないでしょうか。

述べたい事は枚挙に暇がありませんが、最後に極東では、長期に渡り専制独裁政権を世襲してきた北朝鮮のキム・ジョンイル総書記が急逝しました。この地域での緊張が高まり、行方を懸念しています。

我が国では、あの3.11、未曾有の東日本大震災に次いで起こった原発事故です。まさに国難で、多くの被災者を出し、未だに厳しい生活を余儀なくされている多数の被災者がいます。しかし被災地で多くの日本人が互いに助け合っている姿は世界中に報道され、日本人の美德として賞賛された事は救いでした。一日も早い復興を御祈りいたします。

我が古里、沖縄は普天間、辺野古の基地問題で明け暮れた一年でした。尖閣諸島の領有権の問題はアメリカ、中国の狭間にある日本の防衛問題をわれわれ国民に目に見える形で突きつけました。沖縄の真の平和で静かな日々は夢物語であろうかと思われました。主権国家としての真のリーダーの台頭を切望します。喜ばしい事は、志を胸に沖縄から海外へ雄飛した移民の方々の二世、三世をはじめ、県系の方々が大挙5000人も世界のウチナンチュ大会に参加され、ルーツの絆をしっかりと確かめ合った事です。

さて、話題を我が寿仁会に移すと、先ず「沖繩セントラル病院」においては

①回復期病棟の開設が挙げられます。宮城院長の指導の下、PT、OT、STの諸君が看護師の皆さんと共に、試行錯誤の中にも歩み着実に実績を挙げつつあります。





②当院の特色の一つであるガンマ・ナイフ治療も院長以下スタッフの熱心な協力のもと、通算 1700 症例を超える手術実績を挙げている事は感謝に耐えません。またパーキンソン病患者さんに対する県下で初めてのDBS手術の成功は特筆すべきものです。一方、「ユートピア沖縄」は、少子高齢社会で増加してくる介護を要する方々の為の施設です。国土交通省のモデル事業として全国 21 箇所の中の沖縄県で唯一の施設として認可されました。130 室はすべて個室であり、館内にはクリニック、デイサービス、認知症患者対象のグループホーム、居宅介護支援センター、訪問看護ステーション、訪問介護ステーション、保育園などを備えた複合施設です。高齢者の理想郷ユートピアの名に恥じない環境作りが急がれます。回復期リハビリテーション、ユートピア沖縄、共に、まだ道半ばであり、全職員の更なるご協力、ご奮闘を期待します。



昨年一年間の出来事について、縷々と述べてきましたが、本年（4月）は医療・介護保険の同時改訂の年です。我が国の高齢化のピークを迎える 2025 年に向けた第 1 歩という位置づけで、厚労省が進める「地域包括ケアシステム」の実現を目指して、新規サービスの創設や既存サービスの見直しが進められています。

団塊世代の高齢化が一気にすすむ、2010 年から 2025 年にかけて 65 歳以上の人口が約 700 万人、75 歳以上の後期高齢者は約 745 万人に増えると推定され、高齢化率は実に 30%を突破する見込みです。急速な高齢化がもたらすのは、要介護者の急増であり、医療ニーズの高い人々が増え、その生活を支える必要が強まります。同時に、老人独居や老々世帯が増え、認知症患者が増加します。これらの問題に対応するために策定された施策が「地域包括ケアシステム」です。高齢者や要介護者が住み慣れた地域で生活を継続できるように、日常生活圏(概ね 30 分以内で移動できるエリア)において医療、介護、予防、住まい、生活支援サービスを一体的に提供する体制の事です。

このような施策に対応するためには、地域医療機関・介護施設、行政、地域住民(民生委員等)の連携を密に、有機的に再構築する必要があります。つまり、一層厳しさを増す医療介護環境に確実かつ迅速に対応する必要があります。管理職はもとより全職員が病院・施設への強い帰属意識をもって対峙することが大切です。

今後の医療介護は、医療スタッフのみでなく、患者、家族を主体にしたスタイルの経営が不可欠です。近年、メディアを介して患者・家族の医療・介護に関する知識は豊富になりましたが、ややもすると誤った情報により治療に支障をきたすことも否めません。我々はプロの立場から患者・家族の教育も必要であり、患者本位とは無闇に患者に迎合する事ではありません。

人口の増減、高齢少子化の影響、医療技術の進歩と高度化など医療費増大の要因は様々ですが、これに対応する政府の施策も時代と共に変化してきました。国民皆保険制度が確立されてから、今年で 51 年です。過去 50 年を振り返ってみると前半は量的拡大の 25 年間で、出来るだけ病床を増やす事であり、後半はむしろ医療費の高騰で病床規制が進められた 25 年間でした。そして、この先 25 年は在宅（それは自宅だけではなく、ユートピア沖縄のような住居も含めたもの）で、医療・介護を提供する時代の到来であります。45 才以下の人が必要とする 1 年間の医療費と 75 才以上の後期高齢者が必要とする医療費では約 6 倍、介護を入れると 9~10 倍の差があるといわれます。昨年 6 月の「第 10 回社会保障改革に関する集中検討会議」では、医療・介護等のサービスの提供体制の効率化・重点化と機能強化を図る改革案として、診療報酬・介護報酬の体系的見直しと基盤整備のための一括的な法整備を行うことが示されました。そこに



は少子、高齢化に耐えうる医療を提供するため、次の項目を挙げています。

- ①病院・病床機能の分化・強化と連携
- ②在宅医療の充実など、地域包括ケアシステムの構築
- ③ケア・マネジメントの機能強化
- ④居住系サービスの充実
- ⑤重点化に伴うマンパワーの増強



③については入院後、帰宅できない患者が多いのは、現在の在宅サービスが貧困だからです。今後は自宅に帰っても十分にサービスを受けられる体制を作ることが必要です。そのためには平均在院日数の短縮、外来診療の適正化、ICT活用による重複受診、重複検査、過剰薬剤投与の削減、介護などを行って現状の無駄を省き、全国一律ではない地域特性にあったサービスの提供を確立する事が必要であるとしています。

来る4月の診療・介護報酬の同時改定では、慢性期入院医療のあり方を総合的に検討するため、一般病棟や療養病棟、障害者病棟を含めた横断的な実態調査を行い、その結果を反映する事が効率化のターゲットになるとしています。同時改定では医療機関から在宅へ円滑に移行するための連携強化の部分と、医療が必要な要介護者の在宅生活を支えるための訪問看護提供の部分が目玉となっていて、当院もこの施策に向けて早急に体制を構築する必要があります。

④については当「寿仁会」では国交省の方針を先取りして既に130床の大規模高齢者向け住宅「ユートピア沖縄」を新設して、クリニック、保育園を併設し、更に高齢者向けの諸々のサービス体制を進めています。この事業が円滑に進められ、真に高齢者が満足できる環境になるか否かは、職員の皆様の双肩にかかっていると申しても過言ではありません。マンネリズムに陥りがちな日々の仕事を漫然と行うのではなく、習慣となっている仕組みに常に疑問をもつ積極性と初心を忘れず、全職員が一丸となって取り組む事が、病院、施設が生き残る絶対条件です。

個に埋没し、他との関わりを持たない人々が近年増えてきました。人間は一人で生きて行けるものではありません。連携が必要であり、そこには良好なコミュニケーションが不可欠です。この数年来、年頭に示した諸々の企画、発案が十分に実践されず、依ってPDCAcycleが機能していません。

"職員の自己テスト"形骸化然りであります。自らの身の回りで改善できることは何か。コミュニケーションの第一歩は挨拶です。そして相手を思いやる言葉と行動です。若い職員は経験豊かな先輩の含蓄に学び、また年配の人は日進月歩の医療教育で培って来た若い職員の技術を尊び、互いに相和することで良好なコミュニケーションが生まれるのです。理事長の役割はビジョンの策定、資金調達及び経営管理であり、一方、病院長、看護部長の役目は概ね4割が診療、看護、3割が教育、地域活動、残り3割が運営管理です。各部署の組織を円滑に活性化し、事務系全般を統括するのが事務長の役目です。各部署長およびスタッフ一同は病院、施設の理念達成のために一丸となり堅い"絆"を持って邁進して頂きたいと思います。終りに本年度の主なるビジョンを列挙して100%完遂を願うものです。

1. 早急に回復期リハビリテーションを軌道に乗せる。

PT、OT、ST、看護師の連携で患者の社会復帰に向けて効率の良い機能訓練を構築する。(最低6単位から9単位を目標に)

2. 病院機能評価機構



V.6 への挑戦で名実ともに高い評価を受ける準備をすすめる。

### 3. 最新鋭 G.K の導入

当院における医療の目玉の一つである。ガンマ・ナイフによる手術症例が既に 1,700 症例を超えているが、更に効率よく患者に負担の少ない最新鋭の機器"パーフェクション"を導入する計画をすすめる。

### 4. 高気圧酸素治療の推進

治療機器導入当初は潜水病治療が主だったが、経年毎に治療対象疾患が保険適応されており、各医療機関、県民への PR を推進する。

### 5. 創立 40 周年記念行事、記念誌の発刊準備

### 6. Central Care Village Club の充実

### 7. ユートピア沖縄と沖縄セントラル病院の連携強化

ユートピア沖縄の施設に併設されている諸事業を円滑に推進させるために、組織機構の再編を含めた職員交流をはじめ、有機的な連携強化を急ぐ。

### 8. 地域自主防災組織の設立

地震・水害などを念頭に諸々の災害に対する地域の自主防災組織を設立し、地域とのコミュニケーションの確立をはかる。

### 9. 専門医・認定医等の招聘をはかる。

地域との密な連携を推進するためには充実した医療看護介護の質が求められる。コメディカルの更なるレベルアップをはかる。

### 10. 増患・増収対策

全職員が病院・施設の涉外担当者としての役割を果たして頂きたい。良い発案・実践者に対する表彰制度を設定する。身の回りで改善できることは何か。

例

①院内広報に無駄がないか。(コピーの多用、印刷の手間、排出するごみの量)

②公用車の整備(使用後の車両は毎日点検清掃しているか。いわば病院施設の PR 車としての役割もあり、又、効率のよい巡回をしているか。燃費の削減等)

③節電・節水対策の良いアイデアはないか

④増患対策について

原則として当院に関わっている患者は 24 時間、断らない方針であるが、最近実践されずクレームが多い。外来患者減少の一因でもある。(断ったときには救急患者ノートに一例一例どのようなシチュエーションで断ったのかを詳細に書いて日報に貼付する)等。又、対策の一環として、毎日空床を他の急性期病院へ発信し、臨機応変に対応する内部体制を整えておく。

以上縷々述べましたが、今年は単に"Face to Face"から心のコもった"Heart to Heart 深い絆"で結ばれた佳き年でありますように職員、ご家族、患者様のご清福を祈願し、年頭のご挨拶とします。

(2012 年 元旦)



# 謹 賀 新 年



病院長 宮城 航一

新年おめでとうございます。2012 年はよい年であればと願いつつ新年を迎えました。従来は、新しい年はこのような年にしたいと一年の計を立てたものです。「一年の計は元旦にあり」とは物事を始めるに当たり、最初にきちんとした計画を立てることが大切であるとのことですが、昨年は東日本大震災がありましたので、いつか人の思いを超えた何か、我々の人生にも振りかかるのではという思いがよぎります。昔の人は、我々の人生は運命に左右され、不条理の中にあると考えました。フランスの思想家パスカルは、パンセで「人間は考える葦である」と述べました。これは「人間は自然の中で弱い存在であるが、思考する能力を持つがゆえに偉大な存在である」という意味であることはよく知られています。科学の進歩で人間は自然をも支配できていると思いがつていましたが、それも原発事故で吹き飛んでしまいました。



それにもかかわらず私たちは未来に豊かな社会を築き上げるために、われわれは「考える葦」と信じて新たなスタートラインにつかねばならないのです。科学に命を吹き込まなければならないのです。「絆」が 2011 年を表す漢字に選ばれました。先進科学に未来の夢を託してきたわれわれですが、これに「絆」という命を吹き込むことが期待されているのです。医療に関わるわれわれにとって「絆」をキーワードとして何が求められているのでしょうか？患者様との「絆」とは、患者様を尊厳ある存在として遇することだと考えています。愛は人と人を引きつけるが、尊厳は尊厳し合うことに依って良い距離を保つように仕向けるものです。「沖縄セントラル病院は患者様の尊厳を最重要視していると市民から評価される病院として知られるようにしたい」、これが私の元旦の啓です。スタッフは、夫々の現場で、患者様の尊厳を守るとはどのようなことか考えて業務にあたって欲しいと思います。身体障害、治癒の望みが絶たれた重篤な慢性疾患、がんの脳転移などをきたした患者様たちの尊厳確保に心するという私の元旦の啓はスタッフひとりひとりの参加なくしては実現できません。今年も宜しく願いいたします。平安が患者様とスタッフ一同の上にありますように！

2012 年元旦



# 謹 賀 新 年



看護部長 喜久川美佐代

年のはじめの ためしとて 終わりなき世の めでたさを♪♪♪・一月一日の歌を口ずさんでみる。昨年の3月にかつてない大震災に遭遇し、日本全体が激動の時代を迎えている今、松竹たてて 門ごとに 祝う今日こそ たのしけれの言葉に一日一日を大切に生きることを痛感する。

2011年9月「国民皆保険達成から50年」という日本特集号を目にした。日本が短期間で平均寿命世界第一位となった要因、そして日本が急速な高齢社会化に対応するために採った介護保健制度、また世界に誇る医療の高品質と低コストの実態などを分析・検証し、論述している。読み応えがあるとともに、日本を客観視することができる気がする。過去から現在、そして未来のわが国の医療を考える上で大いに参考になると考える。例えば過去において、日本人の死因の第一位は脳血管障害の中の脳出血であった。特に雪国では、保存食として多量の塩を用いて塩鮭や梅干などをつくり、厳寒の冬をしのいだ。まさに日本人の知恵だ。しかし、高度経済成長によって地方の農村にも冷蔵庫が入った。塩漬による食品の保存は不要になった。経済成長は、私達の食生活や病気をも変えてしまった。豊かになった日本が現在抱えている問題はメタボリックシンドロームに代表される肥満、喫煙、うつと自殺などである。国民皆保険によって短期間で最長寿国になれた日本が解決できないことはないだろうと、日本がどうこの問題に取り組んでいくのか世界中が注目している。さて、日本はこの現実とどう向き合っていくのか、未来に向けて重大な宿題が出された。

看護においては、専門看護師・認定看護師の誕生・新人看護職員研修の努力義務化、特定看護師（仮称）の検討（看護し認定能力認証制度骨子〔案〕の検討に移行）など近年、さまざまな変化がある。このような変化をみると、日本の医療状況の変化や看護に対する国民の期待を感じることができる。誰しもが「安心して健康に暮らしたい」と思っている。看護はその思いに応えていきたい。しかし、この国民の期待に反して、私たちの職業倫理に頼るばかりでは、応えることは厳しい。看護職が元気に働き甲斐を感じて就業できる職場環境の整備が必要だ。そうは言っても看護師不足が叫ばれる中で、どうやって課題に取り組んでいくのか、臨床現場が抱える問題は複雑である。こんな時は、現在から過去を眺めてみることも一つではないだろうか。私たちは経験、時間、そして仲間というかけがえのない宝物を持っている。患者中心の医療も看護師等が健康で安心して働ける日も、そう遠くはないだろう。全ての人々が幸せでありますように、プロフェッショナルとして頑張りたい。

2012年 元旦



# 活動アルバム

## 1. 忘年会

昨年の忘年会は沖縄セントラル病院とユートピア沖縄の合同で行いました。例年に比べ倍近い人数となり会場探しに苦労しましたが、10箇所ほどあたり何とか決める事が出来ました。狭いホールで皆様には不便をおかけしてしまいました。今年は、取り組みを早めをしたいと思います。各セクションの実行委員の皆様、余興で盛り上げて頂いた皆様ありがとうございます御座いました。今年は、職員が楽しくリフレッシュできるようなイベントを企画していきたいと思えます。(交友会長 大城裕也)



## 2. 仕事始め





## 2. 餅つき大会

一月四日の仕事始め、北風が強く吹き付ける中、セントラル病院玄関前にて餅つき大会が行われました。楽しいうちな〜民謡のライブ演奏を聴きながら、つきたてのお餅が入ったぜんざいをいただき、格別に美味しかったです。今年には餅つきのようなチームワークを大事に、粘り強く頑張ります！



## 病院の基本理念

1. ひたすら病める人々のために
2. 健全なる人々の更なる健康増進のために
3. 集いし職員<sup>（ト）</sup>の生涯修養の館たらんことを

## 病院憲章

1. 私たちの病院は、地域の人々の健康と福祉を保証し、併せて健やかなる人々の病の予防と更なる健康増進のために努めることを目的とする。
2. 私たちの病院は、生命の尊重と人間愛を基本とし、常に医療水準の向上に努め、専門的・倫理的医療を提供するものとする。
3. 私たちの病院は、病める人々中心の医療の心構えを堅持し、地域の人々の満足を得られるように意欲ある活動をするものとする。
4. 私たちの病院は、何人も利用しやすく、且つ便益を人々に公正に分ち合うサービスを志向するものとする。
5. 私たちの病院は、地域医療体系に参加し、各々のもてる機能の連携により合理的で効率的な医療の成果を上げることに努めるものとする。
6. 私たち職員は、たゆみない研鑽を積み、医療の錬磨と医道の高揚に努め、限りない愛情と責任を持って、地域の人々のために最善を尽くすものとする。

## 看護部の理念

1. 地域の人々の疾病の予防と健康増進の為に、検診から在宅看護まで一貫した看護活動をとおして地域に貢献します。
2. 患者の身体的、精神的、社会的ニーズにお応えし、きめ細かな看護、介護の実践を目指します。
3. 患者の人権を尊重し、質の高い看護、介護を提供する為に、看護研修や研究を継続します。

### 沖縄セントラル病院 ユートピア沖縄ご案内



#### 沖縄セントラル病院

住所：沖縄県那覇市与儀1丁目26-6番地  
電話：098-854-5511  
ファクシミリ：098-854-5519

#### ユートピア沖縄

住所：沖縄県那覇市寄宮2丁目1-18番地  
電話：098-854-5551

最寄りバス停留所：県立看護大学前（徒歩約1分）

<車でお越しの場合>

時間の目安：那覇インターより約15分。  
：那覇空港より約20分。

ホームページアドレス：<http://iyujinkai.jp/>



診療科	時間帯	月	火	水	木	金	土
循環器内科	AM		鈴木 信 (第2・4)	鈴木 信	前里 輝		
	PM	鈴木 信				鈴木 信	
皮膚科	AM				琉球大学		
	PM						
外科	AM						
	PM				下地 忠夫		
整形外科	AM	平 宏章	琉球大学	平 宏章		平 宏章	
	PM	平 宏章	琉球大学	平 宏章		平 宏章	
内科	AM	石田 眞一	國吉 永二	中村 紀彦	石田 眞一	國吉 永二	中村 紀彦
	PM	加藤 健作	加藤 健作	石田 眞一	中村 紀彦	加藤 健作	石田 眞一
内視鏡	AM	加藤 健作	加藤 健作	石田 眞一	加藤 健作	加藤 健作	加藤 健作
	PM						
検診・ドック		國吉 永二	中村 紀彦		國吉 永二	中村 紀彦	石田 眞一
脳神経外科	AM	宮城 航一	大仲 良一	大仲 良一	大仲 良一	大仲 良一	大仲 良一
	PM	宮城 航一	宮城 航一	外間 晶子	大仲 良一	宮城 航一	宮城 航一
脳ドック・高気圧		大仲 良一	大仲 良一	外間 晶子	大仲 良一	大仲 良一	大仲 良一
特殊外来 (ガンナイフ・パーキンソン)	AM						
	PM	宮城 航一	宮城 航一	宮城 航一		宮城 航一	宮城 航一
心療内科		石津 宏 (完全予約制/不定期月1~2回)					
歯科	AM	當間 里花	當間 里花	當間・仲程	當間・仲程	當間 里花	當間・仲程
	PM	當間・仲程	當間 里花	當間・仲程		當間・仲程	
訪問歯科	AM	仲程 留奈	仲程 留奈			仲程 留奈	
	PM						

■受付時間：午前 8：30～12：30/午後 13：30～17：30

■診察時間：午前 9：00～13：00/午後 14：00～18：00

◎ガンナイフセンター 直通：854-5516 (内線：217)

◎高気圧酸素治療センター (内線：115)

◎リハビリテーションセンター (内線：500)

◎健康管理センター (内線：214・223)

●人間ドック ●脳ドック ●一般検診 ●特殊検診 (航空身体検査・高気圧業務検査)

●メディカルフィットネスセンター「フローゲン」直通：854-5541 (内線：502・504)

◎医療福祉相談室 直通：855-7200 (内線：219)

発行人：寿仁会理事長大仲良一 編集：沖縄セントラル病院 広報委員会 石田眞一 新里善一 新里幸男 渡真利恵長

※当院敷地内は禁煙となっておりますので、ご理解ご協力の程をお願い致します。